

学校教育目標	「えがお なかよし チャレンジ」 ○自分のよさや可能性を伸ばしていこうとする子を育てます。 ○身近な人々や自然とのふれあいを大事にしていこうとする子を育てます。 ○自分の意志で判断し、よりよく解決していこうとする子を育てます。				
			【知・体】 【徳・公】 【開】		
学校概要	創立 55 周年	学校長 内田 宏	副校長 大賀 あゆみ	学期制	一般学級：18 個別支援学級：5
	児童生徒数：	505 人	主な関係校： いずみ野中学校、いずみ野小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	いずみ野中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくりに関する力 ～なりたい自分を見つける力～	いずみ野中学校 いずみ野小学校	「夢の実現に向かって」 ・学びの目標の実現に向かって、挑戦し続ける子ども・自他の違いを認め、進んで人とかわかれる子ども・自尊感情を高め、自信をもって生きていく子ども 小小・小中での授業研究や職員間の交流を通して、9年間で育成を目指す資質・能力の共通理解を図り、つながりのある小中一貫教育の推進を行う。①児童生徒一人ひとりの理解や情報交換の充実を図り、9年間つながりのある個に応じた教育の継続 ②各教科における授業のつながりと一人ひとりの特性を意識した指導内容の充実

中期取組目標	○「えがお なかよし チャレンジ」の実現に向け、地域と学校の連携を図りながら全職員がチームとなり、活力と魅力にあふれた地域から信頼される学校づくりを目指します。 ・学ぶ楽しさが実感できる授業づくりを推進し、学力向上に努めます。 ・身近な人やまちとのつながりを大切に、豊かな体験を通してまちを愛する心を育てます。 ・一人ひとりが安心して自分らしさを発揮しながら学校生活に主体的に参画し、楽しい学校生活を送れるようにします。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 学習指導	①一斉テスト(年2回)の実施や、新橋小講座などを通じた職員研修によって、児童が自ら目標に向かって粘り強く基礎基本の力を高められるようにする。②毎月の研究部の会議で、タブレット端末の活用について情報交換を行い、各学年に伝えることで、タブレット利用に関して、指導の統一を図る。その上で、デジタルドリルを含む、自分が取り組む課題や解決方法を選べる力を育てる。③学校司書や泉図書館、委員会活動等と連携し、読書に親しめる環境を作る。(ONEの会の読み聞かせ、感想文・感想画への取組、はまっ子読書週間、国語を中心とした教科での活用等)
担当 研究部	
徳 道徳教育 人権教育	①たてわり班活動や幼保小連携を中心に、子どもたちの考えを生かしながら異学年交流を工夫して実施する。②自分づくりパスポートで、自分自身を定期的に見つめ直し、自分の頑張りや自分の良さについて気付けるようにする。③社会福祉法人びぐれっととの交流を継続することにより、人権教育の充実を図る。④横浜プログラム(Y-Pアセスメント、指導プログラム)を活用して、より良い人間関係を構築する機会を設ける。
担当 総務部	
体 健康教育	①健康診断や体力・運動能力調査の分析に基づいて、年間を通して児童が体を動かせる機会を設けたり、日常の体育科授業を改善したりすることを通して、児童が体を動かすことの楽しさを感じられるようにする。②健康(生活安全・保健・給食)について子どもたちと話し合いながら年間を通して継続的に健康的な生活について意識を高め、自ら健康を保持増進しようとする姿勢を培う。③栄養士と連携しながら家庭科や特別活動、総合的な学習などで食育を実施し、食への関心を高める。
担当 指導部	
公開 自分づくり教育	①生活科や総合的な学習の時間、社会科などの教科で、児童が地域とかかわる活動を計画的にもてるように職員研修を行う。②校内に担当者を設置し、地域コーディネーターの方と年度初めに顔合わせを行い、地域や団体と関わる機会を作る。
担当 研究部	
いじめへの対応	①毎月のいじめ防止対策委員会の開催を通して職員間の情報共有をスムーズに行う。②児童指導情報共有フォルダの活用で定期的な情報共有の場を待たずに情報の共有を可能とする。③いじめ防止研修で未然防止・チーム対応の意識を高める。④生活アンケートや教育相談の実施で児童の声を積極的に聞く。
担当 指導部	
人材育成・組織運営(働き方)	①3部会を運営組織の柱に効率的に会議を進めるとともに、ICTを活用して情報の共有化を進め、組織的な働き方改革につなげていく。②メンターチームを活性化させ、授業研究や実践提案を通して、教師として必要な実践力を高める。③指導力や危機管理対応能力、ICT活用能力など、学校に求められている教師の力量を高めるために、校内研修を計画的に実施していく。
担当 教務	
地域学校協働活動	学校運営協議会を定期的に開催し、学校経営方針を地域に周知するとともに、地域からのよりよい意見を学校経営や教育活動に生かしていく。学校運営協議会に教職員が積極的に参加することで、より地域に根ざした学校経営・教育活動の推進・充実を図る。
担当 教務	
担当	
担当	
担当	